



心につける 義肢、装具



川村義肢株式会社

まず身につけるのは 福祉と人権の意識

義肢、装具、車椅子、人工ボデイ等の開発、製作、販売を手がける川村義肢。創業は昭和21年。川村慶社長の祖父が「身障者にその時代の最高の製品を提供したい」と独立し、開業した義肢製作所が始まりだった。

以来、半世紀以上にわたって業界のリーディングカンパニーであり続けた同社。川村社長は、「義肢や装具は、技術があればどこにでもつけることは可能です。しかし、本当に必要な人、本当に必要とところ、そして、心につけるものだという意識が何よりも大切」だと言う。そのため同社では、新人研修に特に力を入れており、企業理念や組織の説明に加え、人権や福祉についてもしっかりと教える。

「最初の教育が最も重要であり効果的。私たちが最も大切にしている『お客様にお伺いし、教えていただく』という姿勢を徹底するためには欠かせない過程」と強く語る。「ものづ

くりは人づくりから」という意識が根付いている証だ。

わずか3日間で リハビリ用長下肢装具を納品

「義肢や装具は、体、時間、生活全てにフィットしなくてはならない」と語る川村社長。そのためには「当たり前だったことを変えなければならぬ」と考え、先進的な取り組みにも着手し、実現させてきた。

例えば、従来、長下肢装具の製作には、採型、製作、仮合わせ、納品と、全工程で2週間程度を要するのが「当たり前」だったが、同社ではこれを3日間で行う体制を確立した。「急性期の早い段階からの装具を使用したリハビリが重要である」からだ。

資格取得を後押し、 技術者の腕と心を高める

また同社では、多数の技術者を抱えることから、個人レベルの技術伝承だけに頼るのではなく、各分野における必須技術を明文化した「技術基準書」によって技術の受け渡しを行っている。さらには、「社内技術コンテスト」を定期的に開催することで、各個人の技術はもろろん、モチベーションの向上にもつなげている。

そのほか、国家資格である「義肢装具士」をはじめ、福祉・医療系の国家・認定資格保持者が多数在籍する同社では、特に「義肢装具製作技能士」の資格を奨励。社内勉強会も開いている。

お客様とともに歩み続ける 義肢・装具を

今後、川村義肢が目指すのは、「生活のトータルコーディネート」。「最終的に自立するのはご自身。私たちの使命は、自然治癒力に貢献すること」と話す川村社長。そのためには、「一点のみの断片的なサービスではなく、線となったひとりのサービスが必要不可欠」になる。これからも同社は「お客様から学び」ながら、業界を牽引し続けていくに違いない。

川村義肢株式会社

Company
Profile

住所 / 〒574-0064
大阪府大東市御領1-12-1
創業 / 昭和21年12月
設立 / 昭和38年4月
資本金 / 8,350万円
従業員 / 574名 (平成21年1月現在)
TEL / 072-875-8000
FAX / 072-875-8005

全国
19

関西
19

ISO 9001

<http://www.kawamura-gishi.co.jp/>



川村 慶さん
代表取締役

主な事業内容

義肢・装具・リハビリ機器の製作・具
販売、福祉用具・レ
全般の販売・補聴器
事業等